

最新の設備と環境。  
充実したプログラムを  
実現する

## 高度医療人育成センター

“研修医の医局”として初期研修医には3階全フロアーが用意されています。  
『卒後臨床研修センター』の機能がより充実されました。地域の方へのセミナー・臨床技能研修・女性医師支援などを行う多目的な施設ともなっています。



- 5F 研修室
- 4F OSCE (客観的臨床技能試験) 室
- 3F 卒後臨床研修センター
- 2F 臨床技能研修センター(スキルスラボ)
- 1F 地域医療支援推進室(パソコンルーム)

シミュレータ教育を取り入れ、確実にあなたの身になる研修をサポートします。苦手な手技の修得やチーム医療実践のためのプログラムなど随時実施します。



バーチャル内視鏡シミュレータ



手術支援ロボットトレーナー



高機能シミュレータ

### 快適な研修環境

“研修医の医局”として用意されている研修医室は、高度医療人育成センター 3階全フロアーを使い、一人一人に机とLANケーブルが用意されています。  
また、シャワールームやアメニティ部分も充実しています。



ランチョンセミナー



研修医室



共有スペース



ロッカールーム



シャワールーム

# 自由度の高いプログラムで 実力をつけよう。 大学病院と市民病院、 両方を経験する。



和歌山県立医科大学附属病院

Wakayama Medical University Hospital

研修医  
募集

## Date

●附属病院の特徴  
和歌山県立医科大学附属病院は、高度で先進的な医療を提供し、あらゆる分野の疾患に対して総合的な診療ができる県内で唯一の特定機能病院です。また、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターなど多くの指定を公的機関から受けています。手術支援ロボット「ダヴィンチ」や強度変調型放射線治療「トモセラピー」、最新型の「リニアック」、心血管疾患に対して新たに血管内治療と外科的治療を組み合わせた「ハイブリット手術室」など、最先端医療の充実を図り、患者さんにより安全で正確な手術を提供しています。

●概要  
常勤医師数:572名  
(指導医:197名、研修医:134名)  
許可病床数:一般病床760床(内訳ICU10床、HCU15床、CCU5床、NICU9床、GCU18床、MFICU3床、小児センター 40床、7対1病床660床)、精神病床40床  
標榜診療科:27科(糖内、消内、呼内、循内、精神、脳内、小児、心外・呼乳外、消外、脳外、整形、皮膚、泌尿器、産婦、眼、耳鼻、放射線、麻酔、リハ、歯口外、血内、救急、腎内、病理、リウマチ、形成) (R6.4.1現在)  
平均在院日数:12.4日/病床利用率:75.3%  
1日平均入院患者数:602人/1日平均外来患者数:1,523人  
紹介率:87.0%/救急車搬入患者数:5,970人/ドクターヘリ搬送患者数:532人  
手術件数:8,519件/放射線治療件数:14,171件/内視鏡治療件数:1,862件/分娩件数:439件  
(R5年度実績)

## Access



## 和歌山県立医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1  
TEL:073-441-0575 FAX:073-441-0576  
E-mail:sotugo@wakayama-med.ac.jp  
<https://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo>

●交通アクセス  
鉄道のご利用 JRきのくに線「紀三井寺駅」から徒歩約7分  
新大阪 JR特急くろしお(約60分) → 和歌山 JRきのくに線普通(約7分) → 紀三井寺  
大阪 JR特急くろしお(約60分) → 和歌山 JR阪和線快速(約90分) → 紀三井寺  
関西国際空港 空港リムジンバス(約40分) → 紀三井寺  
バスのご利用 和歌山バス「医大病院」下車すぐ  
和歌山バス・有田鉄道バス「医大病院前」から徒歩約3分  
和歌山バス「医大病院東口」から徒歩約5分  
※主要駅(JR和歌山駅・海南駅・南海和歌山市駅)から運行しています。

見学随時受付します



Instagram  
始めました。  
いろいろな情報を  
発信しています。



# 自由度の高いプログラムで 医師としてのスタートを切る。

初期臨床研修で大切なことは、医師としての基本を身につけることはもちろんのこと、将来、自分の進むべき方向を決定する機会と指導医との良い出会いを持つことです。和歌山県立医科大学附属病院の研修は自由度が高いプログラムが特長で、将来を考えて自分にあった選択ができます。また、すべての診療科において大学病院の高度先進医療に触れる機会はもちろん、一次から三次救急に至る幅広い症例を経験できる高度救命救急センターでの研修プログラムが組まれています。さらに、紀北分院での総合診療をはじめ、県内外の協力病院での研修を通じて多様な疾患を経験し、臨床医としての実力を身につけることが可能です。本学附属病院の臨床研修プログラムを通じて、医師として、人間としてより一層の発展と飛躍を遂げられることを期待しています。



附属病院長  
**西村 好晴**

## プログラムの特長 「日本一の研修病院を目指して」

### 1 自由度が高い

和歌山県立医科大学は  
どのような  
研修にも  
対応できます。

必修科・選択科を問わず、また協力型臨床研修病院・施設についても1カ月単位から研修先の選択が可能です。ローテートを決める研修医会議を3カ月ごとに行うため、情報交換をしながら希望に合わせた自分なりのプランを組むことができます。協力型臨床研修病院・施設も多くあり、大学病院とは違う環境での研修を選択できるなど幅広い経験をすることも可能です。そのため、将来進みたい科が決まっている方は、より重点的に選択することもでき、決まっていなくてもいろいろなか、病院・施設を回るにつれて興味が出た科を増やすなど柔軟に選択していくこともできます。他にはない当院の自由なプログラムで2年間の研修を充実させましょう。

### 2 プライマリ・ケア能力の飛躍的UP

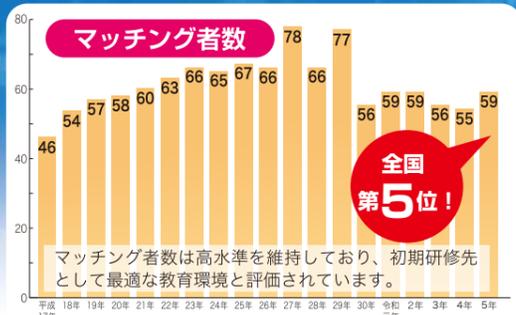
一次～三次まで幅広い症状の患者さんに対応する救命救急センターにて、圧倒的な質と量で研修できる救急研修こそが、プライマリ・ケア能力を飛躍的にのびます。

### 3 大学病院ならではの 全科サポート、恵まれた環境

プライマリ・ケアから専門科診療に至るまで完結した研修が実現できます。

#### 下記のローテート先を自由に選択できます。

- ＜和歌山県立医科大学附属病院＞
- 内科系 糖尿病・内分泌・代謝内科、消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、循環器内科、腎臓内科（人工透析）、血液内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科
  - 高度救命救急センター（救急集中治療部）
  - 小児科、神経精神科、産科・婦人科、心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科、消化器・内分泌・小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、腫瘍センター（緩和ケア）、臨床検査医学、薬物療法
- ＜協力型臨床研修施設＞
- ◆研修ネットワーク参加施設（全科で研修可能）
  - 日本赤十字社和歌山医療センター、独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院、和歌山生協病院、橋本市民病院、ひだか病院、独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター、紀南病院、新宮市立医療センター
  - ◆その他施設
  - 済生会和歌山病院[内科・外科]、済生会有田病院[内科・外科]、公立那賀病院[内科・外科]、海南医療センター[内科・外科]、有田市立病院[内科]、和歌山県立こころの医療センター[精神科]、泉大津市立病院（大阪府）[小児科]、岸和田市民病院（大阪府）[内科・外科]、りんくう総合医療センター（大阪府）[全科]、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院[内科・外科]、高野町立高野山総合診療所、国立病院機構和歌山病院、白浜はまゆう病院、国保ささみ病院、国保野上厚生総合病院、那智勝浦町立温泉病院、町立厚岸病院（北海道）、町立松前病院（北海道）、国立保健医療科学院（埼玉県）、大島郡医師会病院（鹿児島県）、沖繩県立八重山病院（沖縄県）、和歌山市保健所、岩出保健所、海南保健所、橋本保健所、御坊保健所、湯浅保健所、田辺保健所



出身大学

|           |     |
|-----------|-----|
| 大阪大学      | 3人  |
| 神戸大学      | 1人  |
| 滋賀医科大学    | 1人  |
| 秋田大学      | 1人  |
| 福井大学      | 2人  |
| 富山大学      | 1人  |
| 徳島大学      | 1人  |
| 鳥取大学      | 1人  |
| 高知大学      | 1人  |
| 産業医科大学    | 1人  |
| 自治医科大学    | 2人  |
| 大阪医科薬科大学  | 2人  |
| 関西医科大学    | 2人  |
| 兵庫医科大学    | 1人  |
| 藤田医科大学    | 1人  |
| 北里大学      | 1人  |
| 川崎医科大学    | 1人  |
| 福岡大学      | 2人  |
| 和歌山県立医科大学 | 48人 |

地方大学で73人も採用しています。このうち他大学出身者は25名これは全体の34.2%になります！



## 先輩研修医のプログラム

### 寺本 海医師の場合 (近畿大学出身)

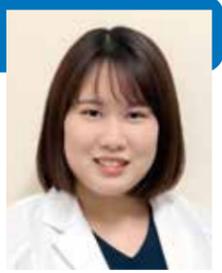


当院の研修プログラムの特長は、3ヶ月毎に自分の希望に合わせて研修先を選択できることです。僕の場合は志望科が未定であったため、まずは院内の興味のある診療科を優先して選択しました。既に志望科が決まっている人なら、志望科や関連のある科を市中病院も含めて回ることができるので、志望科が決まっている人でもそうでもない人にとっても大変魅力的なプログラムだと思います。また、様々な診療科があること、各科に経験豊富な指導医の先生が多数在籍していることも大学病院ならではの特長だと思います。僕自身、各研修先にて専門的な内容を学ぶことができたり、指導医から経験を踏まえたアドバイスをもらったり、大変充実した研修生活を送ることができています。当院では、研修医の数が非常に多く、100人を超える研修医が同じフロアにいるため、情報交換や相談など気軽にできます。僕自身もそうですが、他大学出身者も多く、和気あいあいとした雰囲気です。まだまだお伝えできていない魅力がたくさんありますので、是非当院の病院見学に来て下さい。皆さんと働ける日を楽しみにしています。

【2年間のローテート例】

|     |              |                        |       |                  |              |                             |
|-----|--------------|------------------------|-------|------------------|--------------|-----------------------------|
| 1年次 | 糖尿病・内分泌・代謝内科 | 血液内科                   | 小児科   | 消化器内科            | 循環器内科        | 救急救命科<br>（南和歌山センター）         |
| 2年次 | 救急科          | 腫瘍内科<br>呼吸器内科<br>消化器内科 | 神経精神科 | 地域医療<br>（那智勝浦病院） | 腎臓内科<br>産婦人科 | 公立那賀病院<br>（橋本市市民病院）<br>総合内科 |

### 小西文夏医師の場合 (和歌山県立医科大学出身)



当院での研修は、多くの診療科を自分のペースでローテートできる、自由度の高いプログラムになっています。大学病院である良さとして、診療科が揃っていること、マイナー科でも指導医数・症例数が十分であることが挙げられます。また、産休育休を取得された先生や国内外の留学を経験された先生に出会える機会も多く、相談もしやすい環境です。多様な働き方をされている先生がいるため、きっと自身の将来像に合うロールモデルが見つかると思います。当院は大学病院ではありますが、幅広い症例の受け入れを行っているため、初期研修時代に学ぶべきcommon diseasesに触れる機会も多いです。ロボット手術などの先端医療から医師の基本となる一般救急対応まで1つの病院だけでも経験できます。和歌山研修ネットワークにより、同じ診療科の大学病院と市中病院、どちらもローテートすることができ、比較しながらその診療科の良さを捉えることも可能です。ぜひ一度当院へ見学にお越しください。皆さんと働ける日を楽しみにしています。

【2年間のローテート例】

|     |                      |                     |      |      |                  |                           |
|-----|----------------------|---------------------|------|------|------------------|---------------------------|
| 1年次 | 呼吸器内科                | 救急救命科<br>（南和歌山センター） | 泌尿器科 | 産婦人科 | 神経精神科            | 国立和歌山病院<br>内科             |
| 2年次 | りんくう総合医療センター<br>産婦人科 | 緩和ケア                | 麻酔科  | 小児科  | 地域医療<br>（大島郡医師会） | 総合内科<br>（橋本市市民病院）<br>NICU |

### 卒後臨床研修の目標



卒後臨床研修センター長  
**北野 雅之**

初期研修の目標は医師としての基本的な態度、技術、知識を得ることです。最も大切なことは、自分の専門外であっても正しくトリアージし診療の方向性をつけられることだと考えています。一次医療から三次医療まで広く経験可能で、研究的診療も展開している当院は、まさに初期研修の場としてふさわしいと自負しています。

### 研修医勉強会

1年を通して各科の先生より基本的な必須知識や救急疾患のミニレクチャーが昼休みに行なわれています。また、研修医が主体となり各科の協力を得て、画像読影、心電図、実技、症例ディスカッションなど様々な勉強会を定期的に開催しています。



### 大学院入学が可能

初期臨床研修期間であっても、本学大学院博士課程での勉学との両立が可能です。

### AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコースの実施

採用研修医全員に、BLS講習を行います。この講習を修了し合格すれば、ヘルスケアプロバイダーカードが発行されます。受講料は無料です。

### 急性期医療への対応（高度救命救急センター）



当院の大きな特色のひとつである一次～三次救急では、救急専門スタッフ+各科のスペシャリストが協調して対応しています。プライマリ・ケアの能力向上をめざし、診断から治療までの完結した研修で、自己の課題に気づくことができるでしょう。

### 短期海外留学研修

希望があれば2年目に短期の海外留学研修が可能です。約4週間海外の医療と日本との違いを学び、世界的な先進医療に触れることができます。海外で活躍している和医大のOBがホスト役となって留学を手助けしてくれるので安心です。

### 和歌山研修ネットワーク参加

和歌山県内の9つの基幹型臨床研修病院全てが相互に協力病院となることにより、病院や診療科の選択肢を広げた臨床研修プログラムに参加しています。